

彙 報

第十九卷第十號 昭和八年十月

坂 戸 橋 工 事 概 要

(この報告に就ては工學士兒玉靜雄君の勞を煩はしたり、茲に感謝の意を表す)

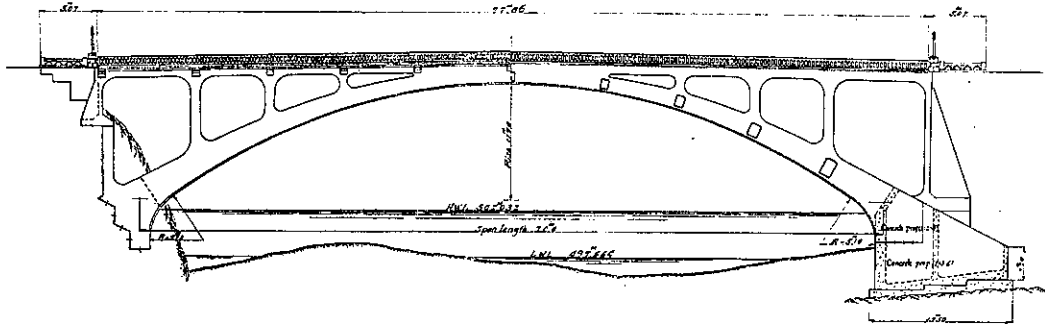
1. 箇所名並に工事種類

路線名：府縣道福與飯島線
 河川名：天龍川
 左岸：長野縣上伊那郡南向村
 右岸：同 同 片桐村
 工事種類：橋梁架設

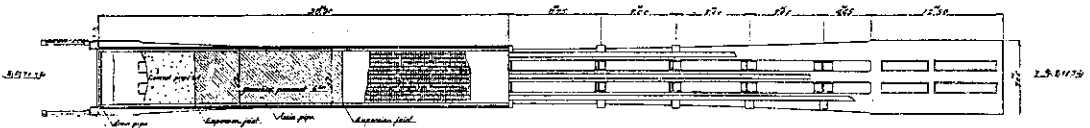
2. 計畫概要、工事狀況

昭和6年度より2箇年繼續失業救済事業として縣直轄を以て着工府縣道福與飯島線上伊那郡天龍川に架設せられ赤石山に通ずる南アルプスの關門にして昭和7年3月起工し昭和8年3月竣功せるものなり。

側 面 圖



平 面 圖



構 造

橋 型：	固定式鐵筋コンクリート拱肋橋	有 效 幅 員：	5.50 米
橋 長：	77.86 米	支 徑 間：	70.00 "
全 幅 員：	6.00 "	拱 矢：	11.70 "

(1) 上 部 構 造：

	使用コンクリート量	使用鐵筋量
橋 體	拱 肋： 771.94 立米	88.38 噸
	桁 受 支 柱： 92.74 "	10.38 "
	桁 及 床 版： 136.00 "	29.77 "
	親柱、高欄、袖高欄： 34.23 "	2.44 "
橋 面	有效幅員： 5.50 米，	
	鋪裝材料：グラノリシック（厚5.糎）25.64 立米， 使用材料：セメント 117.0 樽，碎石 25.64 立米，	

高 欄： 鉄筋コンクリート，親柱： 鉄筋コンクリート表面花崗岩張石

(2) 下部構造：

	使用コンクリート量	使用鉄筋量	摘 要
拱 臺：	441.64 立米	2.79 吨	空間中埋に栗石使用
扶壁橋臺：	249.90 "	9.31 "	{左岸高 5.5 米 右岸 13.25 "

(3) 附帯工事：

袖石積コンクリート：	515.72 平米	{最高 17.5 米 最低 4.2 "
------------	-----------	------------------------

(4) 取付道路：

延 長： 987.0 米，有効幅員： 5.5 米，土砂切取： 453.0 立米，軟岩切取： 1 262 立米
盛 土： 58 614.0 立米，石積コンクリート： 381.0 平米，
鉄筋コンクリート管（内径 1 米）延長： 57.0 米，築堤平均高： 16.0 米

3. 工事費調

上部構造	37 365.00 圓
下部構造	12 135.00 "
附帯工事	3 507.00 "
取付工事	25 676.00 "
計	78 683.00 "

4. 主要材料

品 名	数 量	金 額	製 造 者 名
鉄 筋	144.7 吨	10 934.0 圓	日本鋼材株式会社
セメント	3 588.0 樽	16 316.0 "	浅野セメント會社
コンクリート（配合 1:2:4）		1 288.0 立米	} 2 013.0 立米
同 上（配合 1:3:6）		572.0 "	
同 上（配合 1:4:8）		153.0 "	

5. 主要機械器具

品 名	性 能	数 量	備 考
捲揚器	15 HP	1 臺	セントル基礎杭打用 1000 封度
ダルマ・ジャッキ		14 挺	セントル組立用
ミクサー	6 切練	2 臺	コンクリート練用
水汲出ポンプ	20 HP	1 "	右岸拱臺基礎床掘用
エレベーター	15 "	1 "	コンクリート運搬用
捲揚器	25 "	1 "	取付道路土砂運搬用
メ		50 "	同 上
レール	12 封度	1 000 米	同 上

6. 工事執行者：長 野 縣

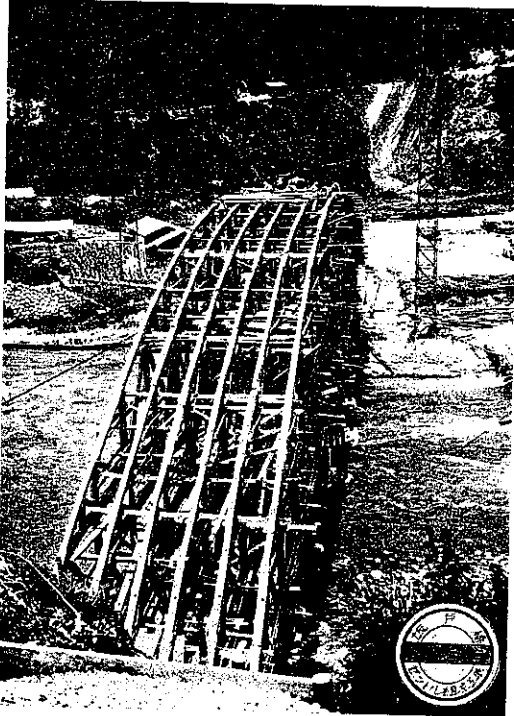
7. 計畫，設計者：土木課長兒玉静雄，^{道路橋手} 欄谷與一8. 工事監督者：^{道路橋手} 欄谷與一，^{土木工手} 野村新一，^{土木工手} 宮川益男

9. 施工方法：直營 長野縣，供給入 丸林組

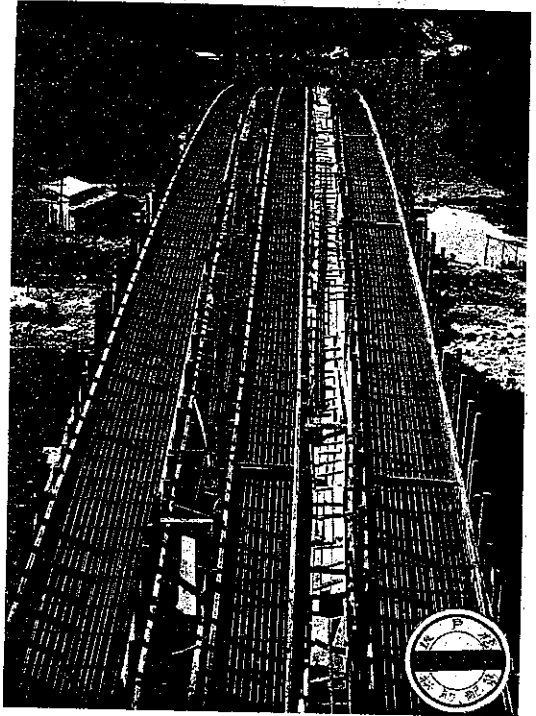
10. 起工年月：本橋 昭和 7 年 3 月，取付道路 昭和 7 年 9 月

11. 竣工年月：本橋 昭和 7 年 11 月，取付道路 昭和 8 年 3 月

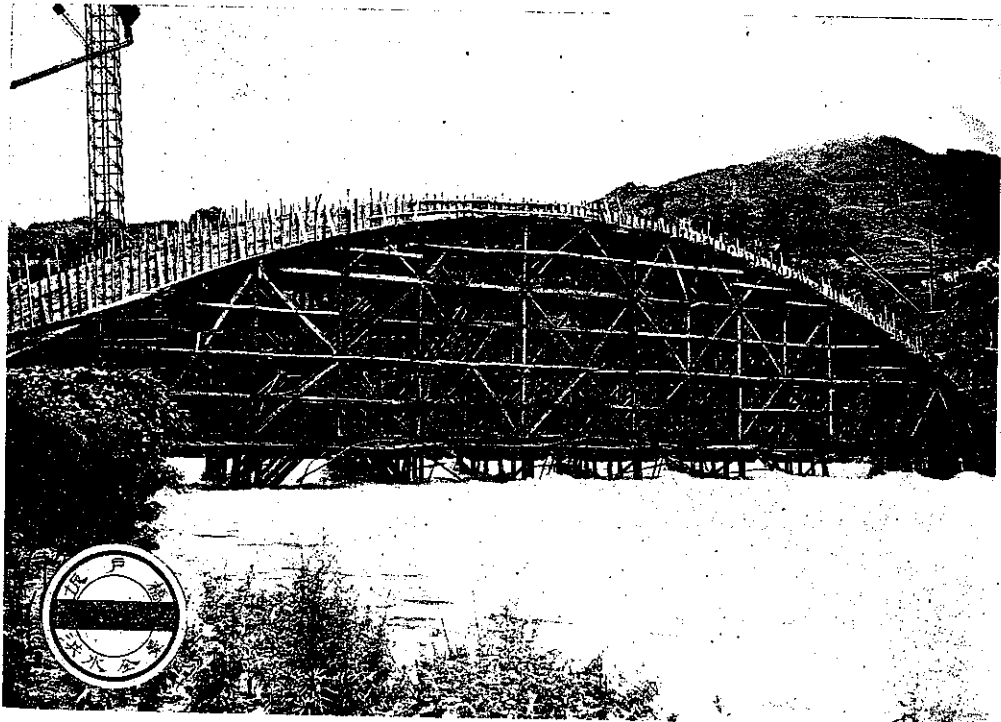
写真第一 セントル組立工事



写真第三 拱肋配筋



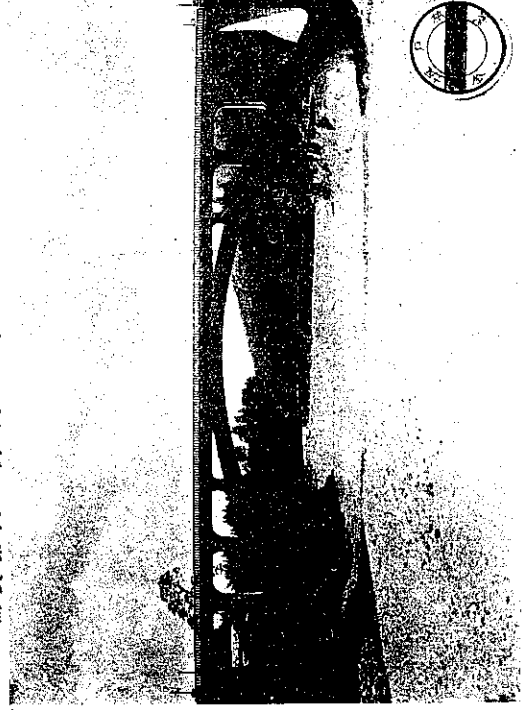
写真第二 洪水全景



寫眞第五 正面全景



寫眞第六 側面全景



寫眞第四 背面の一部

